ベトンテック(エヴァダイム)　　令和5年度　(公社)建設荷役車両安全技術協会

適用範囲				
	モデル名			ECP48CX
	主仕様	吸吐弁形式	−	
		最大吐出量	㎥/h	160(108)
		最大吐出圧力	Mpa	8.7(13)
		ｱｰﾑ最大地上高	m	
	適用号機			

区分		検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	31
			ローター回転数	回/min	-
			(油圧ポンプ回転数)	(min^{-1})	(2660)
			(エンジン回転数)	(min^{-1})	(1750±50)
			(作動油温度)	(℃)	(50±10)
		カクハンソウチ 撹拌装置	回転速度	min^{-1}	±
			チェーンのたわみ	mm	
			(油圧ポンプ回転数)	(min^{-1})	(2660)
			(エンジン回転数)	(min^{-1})	(1750±50)
			(作動油温度)	(℃)	(50±10)
		真空ポンプ	圧力設定値	Pa	
			(設定値到達時間)	(min)	( )
			圧力降下許容量	Pa	
			(保持時間)	(min)	( )
			Vベルトのたわみ	mm	
	ブーム装置	シリンダー自然降下量	ブーム(1)シリンダー	mm	1.5mm
			ブーム(2)シリンダー	mm	1.5mm
			ブーム(3)シリンダー	mm	1.5mm
			ブーム(4)シリンダー	mm	1.5mm
			ブーム(5)シリンダー	mm	
			(測定時間)	(min)	10
			(作動計測条件)		( )
			(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図面No. 1]
		☆ ブームシリンダー作動時間	ブーム(1) 伸び	sec	70sec ±15%
			縮み	sec	70sec ±15%
			ブーム(2) 伸び	sec	90sec ±15%
			縮み	sec	90sec ±15%
			ブーム(3) 伸び	sec	80sec ±15%
			縮み	sec	80sec ±15%
			ブーム(4) 伸び	sec	70sec ±15%
			縮み	sec	70sec ±15%
			ブーム(5) 伸び	sec	40sec ±15%
			縮み	sec	40sec ±15%
			(油圧ポンプ回転数)	(min^{-1})	(2660)
			(作動油温度)	(℃)	(50±10)
			(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図面No. 3]
	洗浄装置	水ポンプ(配管洗浄用)	吐出圧力 油圧	Mpa	
			水圧	Mpa	
			飛距離	m	
		空圧機	吐出圧力	MPa	3
			(油圧ポンプ回転数)	(min^{-1})	(2660)
			(エンジン回転数)	(min^{-1})	(1750±50)
			(作動油温度)	(℃)	(50±10)

☆印：新車基準値を表す(参考値)

令和5年度　(公社)建設荷役車両安全技術協会

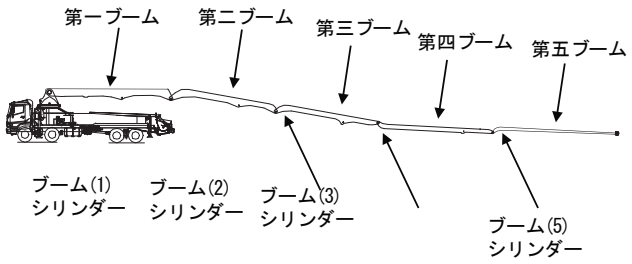
適用範囲				
	モデル名			48M
	主仕様	吸吐弁形式	−	
		最大吐出量	㎥/h	160(108)
		最大吐出圧力	Mpa	8.7(13)
		ｱｰﾑ最大地上高	m	
	適用号機			

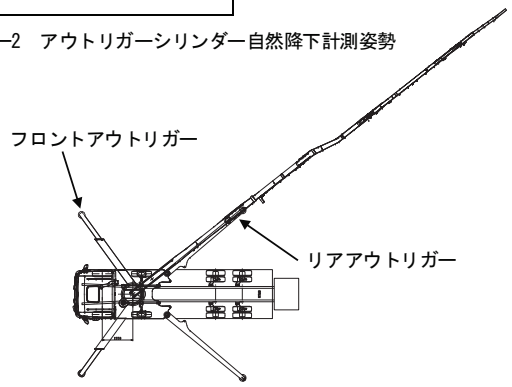
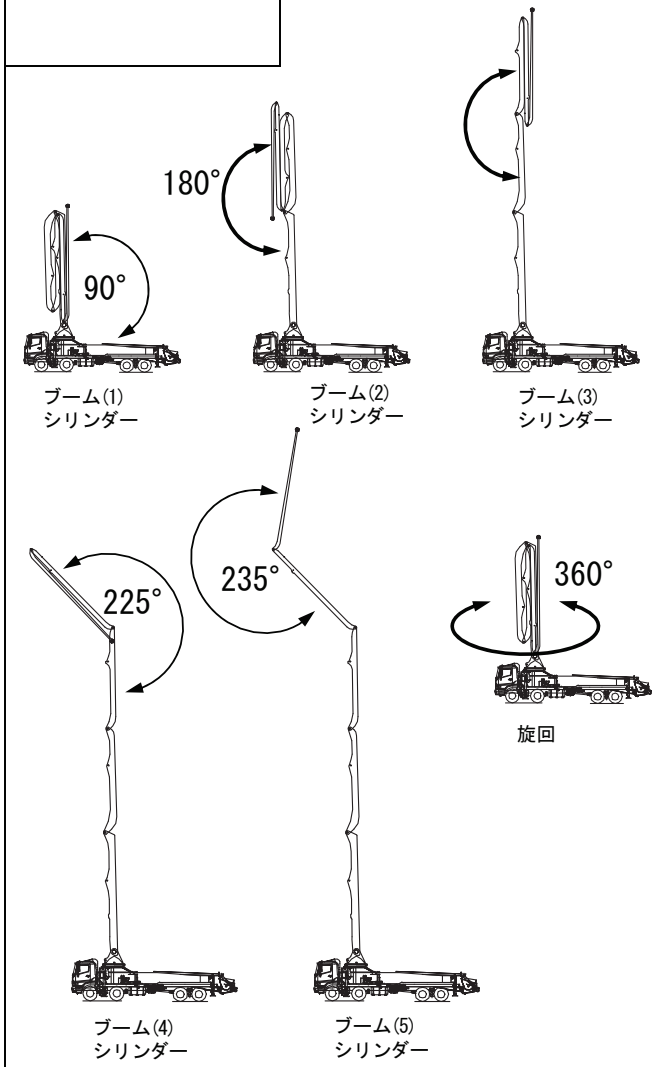
区分		検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値
油圧装置		☆ 油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	36±2
			弁シリンダー油圧	MPa	38±2
			撹拌モータ油圧	MPa	19±1
			ブーム油圧	MPa	38±2
			ACCガス封入圧力	MPa	9±0.5
			(油圧ポンプ回転数)	(min^{-1})	(2660)
			(エンジン回転数)	(min^{-1})	(1750±50)
			(作動油温度)	(℃)	(50±10)
車体・安全装置	旋回装置	☆ 旋回ベアリング取付ボルトの締付	外輪取付けボルトの締め付けトルク	N.・m	1,421
			内輪取付ボルトの締め付けトルク	N.・m	1,421
			旋回ボルトの交換基準	年	
		☆ 旋回作動速度	旋回速度	sec	140 ± 15%
			(旋回作動角度)	(度)	-360
			(油圧ポンプ回転数)	(min^{-1})	(2660)
			(エンジン回転数)	(min^{-1})	(1750±50)
			(作動油温度)	(℃)	(50±10)
	アウトリガー	シリンダー自然伸縮量	各垂直シリンダー	mm	1
			(測定時間)	(min)	10
			(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図面No. 2]
特記事項					

☆印：新車基準値を表す(参考値)

ベトンテック(エヴァダイム)

項　目	測　定　方　法	計　測　姿　勢
ブームシリンダー自然降下	アウトリガーを最大に張り出し、ブームをまっすぐに伸ばした状態で保持する。各ブームシリンダーにダイヤルゲージを取り付け、10分間の自然降下量を計測する。ブーム先端に荷重は加えない。	図ー1　ブームシリンダー自然降下計測姿勢 （下図参照）
ｱｳﾄﾘｶﾞｼﾘﾝﾀﾞｰ自然降下	ブームを水平に伸ばし、測定対象のアウトリガーの真上に置く、アウトリガーにダイヤルゲージを取り付け、10分間の自然降下量を計測する	図ー2　アウトリガーシリンダー自然降下計測姿勢





項　目	測　定　方　法	計　測　姿　勢
ブーム旋回作動速度	アウトリガーを最大に張り出し、各ブームシリンダーの全ストロークの作動時間をストップウォッチで計測する